

令和4年度 港南区区民意識調査 結果報告

港南区役所では、区民の皆さまの生活環境に対する意識等を把握し、今後の区政運営に役立てることを目的に、区民意識調査を令和4年5月に実施しました。前回調査を令和元年(2019年)5月に実施して以降、3年振りとなる今回は、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛や地域活動などへの影響を受けた中での調査となりました。

この度、調査結果がまとまりましたので、お知らせします。当調査結果は、自治会町内会をはじめとした地域の皆さまと共有し、「協働による地域づくり」に生かしてまいります。

◇調査の概要◇

調査対象：港南区区内にお住まいの18歳以上の方4,000人(40人の外国籍区民含む)

抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出

回収数等：2,009票(回収率50.2%)

調査期間：令和4年5月18日～6月20日

調査方法：郵送による配布・回収 ※回収は電子申請・届出サービスも併用

◆調査結果のポイント◆

・港南区に住み続けたいと思っている方は80%

前回調査(令和元年度)に続き、「住み続けたい」と「やや住み続けたい」の回答の合計が80%に上り、多くの方に暮らしやすいと感じていただいています。

・家庭における災害への準備意識は着実に向上

「携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している(69%)」、「食料や飲み物を備蓄している(66%)」など、災害に備えた準備は、前回調査と比べると、ほぼすべての項目で増加又は同等となりました。特に「非常用トイレの準備」は7%増加しました。

・新型コロナウイルス感染症の影響等により地域活動への参加は減少

この1～2年の間に行った活動については、前回調査と比べると、すべての項目で減少又は同等でした。

地域活動への参加自粛や地域活動の中止・縮小が影響していると推察されます。

また、重要度が高いと考える活動については、「地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動」、「近所の高齢者や障害者の見守りや手助け」、「近所の子どもの見守りや声かけ」が上位となり、地域の安全や助け合いなどの地域活動が期待されています。

・スマートフォンは約9割の方が所持

87%の方がスマートフォンを持っているという結果となりました。年代別では、10～60歳代で90%を超え、10～30歳代では99%という結果となりました。70歳代は80%、80歳以上は50%でした。

調査結果報告書は、区ホームページや区役所、地区センター、地域ケアプラザ、コミュニティハウスにてご覧いただけます。

【区民意識調査 URL】<https://www.city.yokohama.lg.jp/konan/kusei/tokei/ishiki.html>



港南区区民意識調査

検索

お問合せ先

港南区区政推進課長

高岡 昭人

Tel 045-847-8320